夕刊　磐城新聞　十二月六日發行
定價 一ヶ月 金六拾五錢
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）
振替東京一〇八五五六番

天氣豫報　小名濱測候所發表
今晩　北の風晴 時々雲
明日　南の風同

禪を語る〔一〕

清泉生

直觀力・禪

アラビア人の一老翁が路傍で憩んでゐると一人の男が息せき切つて驅けて來て

「今この邊を駱駝が一疋通らなかつたか」

と訊ねた。老翁はその男が往かうとした方角を指していつた

「ウム通つた。確かに此處を彼方へ往つたのだ。その駱駝は左の後脚が跛で、右の眼がつぶれてゐて前齒が三枚缺けてゐて、米の袋を背負つてゐるだらう」

「それだ、その駱駝だ、お前は何處でそれを見た」

「イヤ俺は其の駱駝に遇つたわけぢやないが、こゝに此の通り駱駝の足跡があるので、彼方へ向いて往つたことが解るしその足跡が三つは際然と殘つてゐるが、左の後脚に當る一つだけ刻みが薄いのは跛に違ひない。そして駱駝が草を喰つた跡を見れば前齒が三枚缺けてゐることが明かであるし、路の右側には甘い草が澤山あるのにそれには些しも眼を呉れないで左側の草ばかり喰つてゐるところを見れば、右の眼がつぶれてゐるに違ひない。また處々に米粒が落ちてゐるのは米袋を背負つてゐる證據だ」

と答へた。このアラビヤ人は、恐らく現代進歩した文明國人に比して、その知識技能は數段劣つてゐたであらうが、よく咄嗟の間に事象を明確に綜合に洞察した直覺觀察の力に、所謂文明人をして驚歎せしむるものあるが、この例によつても[illegible]純なるもの[illegible]おはない。ことを知[illegible]

近代文明は、人の力を專門の事にのみ注がしめる風で、一方面の事柄に驚くべき明確精密な知識を有するが、專門以外になれば、まるで驚くべき沒常識な低腦者たるを免れないといふ人間をかならず作り出すやうである。限られた、囚はれた頭になつてしまつて、物事を綜合的に直觀し洞察することが出來ないからである。

われ〜日常の事毎にこの囚はれた觀念、物事に凝滯し執着する知識を打破して自然の萬象、大は大のやうに小は小のやうに、それ本態を洞觀し直覺し達觀して滯滯なく障礙なきを得ると共に、人は限りなき大自然の恩惠に浴することが出來る、事に當つて誤りなきを得る世に處して圓滿に、人として價値あることを期し得べきである。

人生の秘鑰、宇宙の妙理それを直覺し大觀し體得する、それが即ち禪である。

激情

淺原純

頭の中がジーンとして
瞬間俺の腕時計は止まつた
だが俺の血潮は
大きな渦を卷いて驅け廻り
俺の鐵腕は虚空にうなつた

× ×

眞黑な大空には
風が吹ね
流星は尾を引いて
空間を二つに引きさいた

× ×

俺は泣きながら叫ぶ
叫びながら走る
眞暗な[illegible]を
[illegible]のない[illegible]を

[illegible]時

小野紛平

[illegible]
一死天涯留偉勳
長袴大風難結夢
孤閨抱女思紛々

けふの日く

12月7日
△西郷南州生る（文政一〇）
△官吏恩給令を制定す（明治一七）

○
木枯の吹く淋しいカフエーに、はいれば寒むそな女らの顔　秋柿

講談　振袖横町（91）

須藤鐘一　荻原萬象畫

當時の事件（七）

須賀金彌は決心した。決心はしたが、切腹する刀がな……。すつかり憂鬱になつて了つた。

そこで、如何にせんと無念の齒を噛みしめてゐた。だん〜夜は更けて行く廣い屋敷は寢靜まつて物音一つしない。

そこに立てられた燭台の蠟燭の火がチラ〜とするのは、餘計に物悲し氣である。

その、チラ〜とする燭台の蠟燭の火をヂッと見詰めてゐた。

「ム、、この火にしても死ぬことはない……」

× ×

牧野邸にては、翌朝金彌の無慙な死を發見して、是非なく此の由を御屆けをした。

備後守御領の金彌が蠟燭の火にて我と我が咽喉を燒き切つて相果てしを知らざるとは落度千萬である……依て御前取上遠慮仰付べき旨の仰せださされば、老中の面々は畏り奉る……お受け申した[illegible]の時、美濃守内心に思ふ壺にはまつて、[illegible]一人[illegible]付[illegible]と[illegible]面[illegible]面にて御前に進み出で

「此の度の備後守、不調法とは申しながら、是迄の忠勤をお召されて、御役御免のみて、輕く仰付られ候樣の御仁心の程願はしう存じ奉りまする……」

とお願申上げた。

並居る面々も、美濃守のかうした非望は知らなかつたかも、その仁心の執成に感心した。

將軍家にも流石に館林以來の御馴染深き備後守のこととなれば美濃守も執り成されると、さすがに不便と思召されて知行は其儘に下されて、御役御免の處分のみにて濟んだ。

斯で柳澤は一人にて御側御用人を相勤め御心に叶ひ、威勢は日々に加はるのみであつた。

ところが又々御老中兼帶を仰付られた。そうなると今は天下に肩を並ぶる者なく人々は、皆敬ひ尊んだ。

柳澤はそこで又密へ[illegible]。將軍家は二途の御生得に渡られしが、今は女色に御心を移りし御樣子と見たものだから、この心理を促へて、藥ろう中の物に譬へた。

そこで、吉原にて名高き三浦屋四郎左衛門が抱への[illegible]滑浦といふ格子女郎を[illegible]金を出して請出し、又、京都島原龜甲屋の玉萩と言ふ女郎を請出した。

この請出した女共を、奥方おさめと同じ座敷に置き先づ傾城の意氣張言遣ひ、風俗盃盤事、答のなしなど習ひ覺わんと、柳澤自ら客人となり奥方おさめと共に女郎のしこなしを習ひ、或時はおさめを傾城に仕立女郎を客に仕立遊女の行裝を仕込んだ。

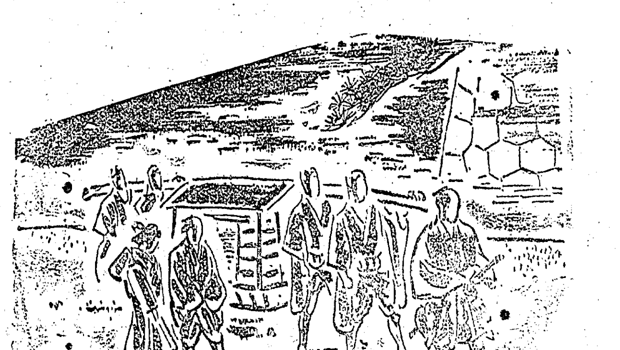
これが、お側御用人兼老中の權勢美濃守の行動なのだ。

廣い屋敷內で秘密に行つてゐることだから世間には知らないが、これでは幕政の敗ける道理だから……。

扨て、美濃守は今やその功も積りて、總といろ〜の仕ぐさも手に入つてしまつたので、處分を早濟ませ折を窺ひ將軍家に申し上げるのには……。

「この程、打續きたる雨天にて御殿のたいくつもしめやかに何となしに御淋し氣に見受け奉りまする。某儀菊花を好み候に付、當年京都より珍敷花を取寄せ[illegible]今を盛りに咲き候。是[illegible]の候得共、恐れながらお慰めの爲に御覧を願ひ奉りまする……」

と言ひ言つた。



旅館 大丰舘
東京上野驛前 下谷郵便局横（角）
私は平市出身ですから特に郷里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります
電話下谷(83)六七七番
主人 比佐棟雄

昭和拾五年度新日記
當用日記・ポケット日記
特種日記……百數十種
新年繪はがき・年賀はがき
──年賀用各種私製はがき──
花がるた・トランプ・百人一首
◇慰問袋に一點きつと喜びます◇
日記及年賀はがき類は用紙不足の折にも不拘豊富に取揃へましたが品切れませんうちに御買上願ます
柴田書店　平市四町目（電話 一二三四番 二二四番）

生花教授
池ノ坊　生花を懇切丁寧に御教授いたします。お遊びがてら御出で下さい。
平市四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

吸入用酸素
呼吸困難治療として早くおすゝめ下さい
流行感冒豫防に（マスク）各種あります
病氣豫知に（體温器）各種あります
平市古鍛冶町一〇（縣社下）
岡康藥局
電話四四番　振替東京三〇〇六五番

これは便利！
△手を荒さず
△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
△つけておくだけで洗へる
(美) マルミ粉末石鹸
製造元 平市材木町二一

平驛前
旅館 とらや
電話六四八番

加奈陀系銀狐、純血エゾ狸
東北系多産種狸、フイッチ日本テン
大型種兎アンゴラ兎、雉子家禽各種
平產業養狸組合事務所
乾產業會社畜產部
國策アンゴラ兎採毛協會
福島縣磐城種畜場
內郷村境（平市外）
出張所 平驛前 電六四八番
分讓所 東京市淀橋區下落合
◇藥品營養劑 飼料各種◇
◇北里研究所製 ジステンパー豫防液
◇東亞製藥所製 綜合ビタミン劑 ヴイベリン末（動物わかもとの稱あり）
◇フイツシミール 榮養魚粉
病理研究、診療 榮養劑の配劑 飼育指導の需に應
擔任 獸醫師 技師

耳鼻咽喉科專門 レントゲン科
高柳醫院
醫學博士 高柳博明
平驛前 電三三六

低温殺菌
伸びよ太れよ牛乳飲んで
平市鎌田町 電話五一
岡田牛乳

國民精神總動員……
日本國民・必見の書……
內閣情報部發行
寫眞週報
（1部10セン）
…お取次致して居ります…
（平2）西村藥局（電3）

銘木（床ノ間材）
天井板、ベニヤ板買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價の
織田材木商店へ
福島縣平市 電話平四六〇番
[illegible]せる勉强振りを、ぜひ一度お試しなさい
目録營業
建築木材一式
銘木・ベニヤ板
秋田產・杉四分板
建具材・便利瓦
◎小店員募集　年齢十五歳ヨリ廿歳迄

募集
永續者には將來の保證を致します
ボーイさん
◇堅實な營業方針の・サロンのお客樣：當地一流の方々です
◇色々な方に接することが社交儀禮の實際に學び 成功の糸口ともなります
調理見習人 婦人
◇評定あるサロンの調理法を御傳授いたします
◇見習ひとして調理場に御勤務出來る婦人に限る
◇14歳以上30歳迄の健康な方
◇3年以上勤續出來る方
◇親權者若くは本人御來談下さい
平市銀座街　サロン　電話529

日本石油株式會社特約店
ライオンタンク石油株式會社特約店
福島縣平市一丁目（電話六十一番）
株式會社[illegible]彰商店平支店
本店 茨城縣下館町 電話五五、三三九番
支店
茨城縣土浦町田宿 電話六五三番
茨城縣久慈町 電話一三七番
茨城縣多賀郡關本驛前 電大津一四七番
福島縣四倉驛前 電平潟五四番
福島縣小名濱町 電話四八番
油槽所（常磐線泉驛前）
海岸給油所（大津港、平潟港、江名濱）
ガソリン給油所（土浦町新國道日本石油給油所 電話八二四番）

磐城の御みやげ品
改め靈峰羊かん
名物 みやま羊羹（名產梨かん）
─赤井嶽、二ツ箭山、山祇神社參詣土產─
姉妹品
磐城耶馬溪……美山羊羹
同七濱……のり羊羹
同豐間……辨天羊羹
◎各種一本十錢
小川郷驛前
製造販賣元 平屋賣店

吉田眼科醫院
醫學士 吉田久雄
平市紺屋町 電話六八番

自懲他戒の効果絶大
平署の横着商人退治を
喜ぶ市內被搾取階級

最近殆ど連日に亘つて傳家の寶刀を躺走らせてゐる平署の假借なき潜行物價彈壓陣は、今や從來動もすれば當局の長鞭馬腹に及ばなかつたのを寄貨として相當大膽に商賣の裏道を横行し來つた一部不逞の商人をして今後の非行を封じ、之らの爲に知り乍ら法外の高値を貪られんとした被搾取階級を喜ばせるる。即ち時局下の品不足に乘じて手段を擇ばずボロい儲けを續けやうとした彼らは、一たび其筋の檢擧摘發に逢ふや峻嚴なる處罰は、ありふれた他方面の違反などとは異り、爾後の商賣を棒に振る底の由々しい結果を招ぐ場合無しとせぬとの自戒から今回の突風は大休此種の根絶やしに大きな前提をなしたものの如く、今後一段徹底的に行はれんとする平署の取締り警戒は既に檜玉に上げられたものをしてその不心得を再びせしめざるは勿論一般に對しても所謂自懲他戒の大收穫のあつたものとして迎へられてゐる

週間中吏員を動員
—思想を强調
市の納税週間實施事項
先づ完納—

市では經濟戰强調週間中十一日から十七日迄の實施事項として〻納税ポスターの貼付、記念スタンプの押捺及び小學校兒童に納税講話を行ひ一番效果的な童心を通じて『先づ完納』思想を强調する外係員總動員の下に未納及び滯納税一齊整理督勵を行ひ此間十二、三の兩日は納税組合の設置督勵をやり現在の百五十組から更に二百組位にこぎつけたい意氣込みである
尙は市ではこの週間中行はれる縣下優良納税組合表彰に關し結成後五ケ年の優良組合を內申した

寄附採納
正式 十日頃市會で
工業學校計畫進む

市では懸案工業學校建築のため目下野崎、道沼正副議長外委員の一行が上京、最後の寄附交涉を行つて居りその歸平をまつて大體十日頃市會を開き正式寄附を採納した上第二段の建設費造成案を練ることゝなつた
尙この市會ではどうやら前期分と同額になるらしい今年度特別税戶數割賦課についても協議するものと見られてゐる

精動町村常會日割

郡下の銃後强化昂揚精動町村常會及び部落常會研究協議會第二次日程左の如し
△八日渡邊村（久和警防課長、渡邊屬、水野主事補）
△九日川部村（同）
△十一日大野村（久和警防課長、先崎書記、小野主事補）
△十二日川前村（同）

七代表伊勢神宮へ
恒例の元朝詣りに
興亞の春を壽ぐ入山

興亞の春を壽く來新年は皇紀二千六百年を記念する國民的感激を盛・て明朗なる裡にも極めて嚴肅に迎へられ、諸種の記念的催しに時局意識を昂揚するものと豫想されるが　皇室中心主義の强調によつて一意銃後の燃料報國に邁進してゐる入山炭礦では今年も亦職員二名、從業員五名の代表により元朝伊勢神宮を參拜　皇運の武運長久と產山の安泰を祈願し一入事變下產業人の心構へを强化する筈であると
右代表は勤續十年以上にして去る六月以降十一月迄半期間の無欠勤者に限ることになつて居り目下該當者を調査人選中であると

貯金獎勵の功勞で
青沼市長表彰さる

（寫眞は青沼さん）

貯金報國のスローガンに着々百億の金字塔目がけて驀進してゐる貯金局では去る七月十一日に郵貯五十億突破を記念して全國預金者の篤志家功勞者二千名に感謝狀、表彰狀並に記念の花瓶を贈ることになつた。青沼市長もその一人
氏は明治四十五年以來今日まで二十八ヶ年間の長きに亘り家族とともに貯金を勵行今次變勃發以來は愛國貯金の勵行、國債の消化等に七十三才の老齡にも拘らず率先大童の奬勵を續け以て現在は夫人を初め家族七名が全部貯金自ら範を市民に垂れてゐる

平支所管內で
三十四萬貫
木炭縣外移出割當

深刻なる木炭饑饉に對應する本縣木炭統制協議會委員會では十二月の生産見込み數を基準として平支所管內へ縣外移出木炭三十四萬九千五百八十貫を割當てた

交替で夜警
田町防空群申合

市內田町第十二、十三、十四の各家庭防空群では一日の防火デーに際し午後一時から物見ヶ岡稻荷神社に無火災祈願をなした後防火座談會を開いた結果家庭防空群平時の活動として毎夜一時から十二時迄二人宛交替で群內各戶を巡廻火防の完璧を期する事となり一日より實施し區民を感激せしめてゐるが尙今後毎月一日防火座談會を開き防火の徹底を期する筈である

享樂兒に新負擔
市郡下月額一萬の遊興税
率の改正で增加

明年度から實施されると云ふ税制改正案は國税地方税を通じ頗る廣汎な各種税目に亘り中には往々大衆の日常に深い關係を有し乍ら、解說が極めて難解で略ね素人の近寄り難いもの許りである中に國税中の飲食遊興税は比較的社會の各層に若干の關聯を有つ問題として地方でも可なり關心を以て迎へられてゐる樣である
（一）藝妓の花代に對する税率を百分の卅程度（現行百分の廿即ち平市では一本九十錢に對して廿七錢）に、その他の花代及花代以外の料金に對する税率を百分の十五程度（現行百分の十）に引上ぐる事（二）免税點を三圓程度（現行五圓）に引下ぐること但し藝妓の花代を伴ふ料金カフエー等における料金については免税點を設けざること
になるので市、郡下に於ける本年五月以降徴收月額平均一萬圓內外の該税はこの税率引上げと免税點の引下げによつて遙かに何割かの增加を來すべきは必然であり、當の平税務署間税課では今から實施後の動向に注意を拂つてゐる

大小九十名
昨今の平花街

年末から春へかけては例年藝妓の異動季節で、今年も昨今その方面の出入りが多く、こゝもお多聞に洩れぬ人的資源の不足とあつてなかゝ理想の玉を得難い樣であるが、それでも差引大した過不足なく目下の平花柳界は依然大小九十名處を維持してゐる

近道は酒の提供
石炭飢饉に新戰法

相互需給の緩和調整に資せんとする石炭、白米の物々交換は過般縣會に於ける道沼本社長の提唱が時節柄少からず各方面の關心を唆り昨今縣及び主務省間に夫々考慮が行はれて居る模樣であるが、先年來の統制關係から之亦著しき品不足の爲酒の購入に手を燒いて居る地方の中小炭礦では從業員への配給不圓滑が旋て能率の低下を來す惧れがあるので目下百方之が購入に焦つて居り、彼此法に牴觸せぬ程度に於て、酒の提供は昨今の飢饉時代に於ける石炭入手の最も簡便な方法とされてゐる

偉いぞさとちゃん
防空訓練で表彰さる
全國の最年少者

內郷村高坂小學校高等科一年酒井さとさん（一四）は先般の第三次防空訓練に際し耳疾のため家庭擔任者として思ふやうに働けない母とくさん（四三）に代り風雨晝夜をわかたず大人に伍して活躍した外學校で行つた避難訓練等にも他の範となつた廉により此程知事から表彰されたが全國の功勞者中異例の最年少で村の誇りと村民も讃へ學校でも生きた教材として校長先生以下大喜び

愛谷堰組合議員改選

愛谷堰普通水利組合では明春一月二十八日議員の半數を改選するので去月二十八日現在で名簿を調製、關係者に縱覽せしめる

女故に老漁夫の盗み
同僚の貯金を下げる

小名濱町沖見町佐川庄助方漁夫千葉縣榮村生れ小金石德司（五〇）は一昨年八月同家に住み込み以來同町料理店大黒屋方酌婦渡邊みつ（二九）と馴染を續け遊興費に窮して去る九月二十五日午後一時頃同僚渡邊佐嘉江（三二）所有の三十七圓五十錢記入郵便貯金通帳を盗み印鑑を僞造して十月三日みつを使ひ小名濱局から三十七圓を拂げたこと發覺平署に檢擧された。

好間村葬

好間村出身上等兵小川久義君の村葬は來る十日午後一時から同村小學校講堂に於て執行する

。。。。草野防空群表彰　草野村では過般知事から表彰された驛前第一より五迄の各家庭防空群に對し一日表彰狀傳達式

。。。。公判　錦村吳羽人絹工場職工加藤敬正（三九）にかゝる竊盗事件の公判は七日平區裁菅間判事、平島檢事係りで開廷

自殺女の身許判る

昨報、三日夜九時頃小川郷驛附近で列車に飛込み自殺をとげた女は平署の調べによつて好間村小館服部勇さん妻伊達郡川俣町生れよし（三五）と判つた、當日實家へ行くと稱して出かけたもので病弱を悲觀しての結果らしい

。。。。生兎買上斡旋　市農會では六日平窯作業所で生兎の買上斡旋を行つた

平署經濟係引移る

平署の經濟係りは既報の如く近く新任警部補以下三巡査を迎へこれに伴ひ事務も繁多になるのでこんど署內南側に移つた

林警部補後任決る

平署小名濱派出所勤務警部補浦林眞氏は既報の如く野澤町長に轉出、その後任に川口署警部補大久保網喜氏に決つた

。。。。泉自轉車檢査　泉村では九日午前九時から同村小學校で自轉車檢査を行ふ

平市慶弔錄

△出生　本籍長橋町三〇東京市荒川區三島町五町目三五六齊藤伊三郎氏三男正之君
〇婚姻　本籍才槌小路三〇湯本町湯本字向田四四宮澤嚴氏（二七）玉川村岡小名字厚木田七小松タケヨさん（三五）、宮城縣伊具郡北郷村神次郎宇髙久藏一一渡邊義男氏（二九）南町一五仲井ヤスさん（二六）
▲死亡　本籍白銀町四〇中華民國天津河北々營門東街四五曳地靜子さん（三九）

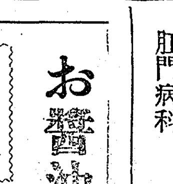
陣中を聽く
（497）

夜明けより續けて
徹底的に撃ちのめす
市內紺屋町　西脇偉吉君（通信）

喜んで下さい私も軍人として出征した甲斐あつて過般來殘敵掃蕩及び今回の戰鬪に參加するの光榮に浴しまして十月中旬無事警備地に歸還致しました。今度はお土產の話が澤山御座います。其の有樣を申し上げれば戰鬪行動開始せられまして四日目に當部隊の前方でありました、除長殿以下全員は士氣大に昂り敵何ものぞと接近して前進すること一里餘、〇部落及び後方陣地の約二百名の敵より一齊射擊を受けたるも部隊長以下全員地物を利用し接敵して交戰致しましたが爆及び砲擊多數陣地に據る敵と離難退し、敵は最後に某嶺鞍部を死守せるものの如くにて夜に入りました。
我が部隊は暗夜に乘じ頑敵を夜襲することに決し步兵〇〇型の如く接敵行動を開始せしが敵は夜間斷わず射擊するを常とするも我が軍の敵陣地前百米附近に至るも敵は發見せるものの如く射擊す、小銃機關銃彈は全く霰の如くでした（略）部隊長殿以下初期の目標毫も變ることなく切り込み突き入り遂に敵第一線を突破致しまして黎明攻擊より急追擊又急追擊敵の兵營に到る處攻擊致したのでありました。
當地は名實共に山嶽地帶で野生のコスモスが咲いて居りました。そして良く働きましたが軍馬特に〇砲〇〇隊の馬で道なき〇兵の通りし處は何處でも意氣が現れて居りまして、何れ山嶽の戰鬪故に一番必要なるは（略）で御座います。或時は〇〇以下生いもを食べましたが戰友は元氣益々旺盛です、そして『いもと兵隊』だと云つて大笑ひしました。一本の煙草を五人位で分けてのむので（略）戰鬪中時々母國の話に花を咲かし元氣百倍せしめて居ります、戰爭は軍人のみ、戰ふものに非る事を深く感謝致しました。（後略）

七日
【小名濱測候所觀測】
滿潮　前一〇、二五　後一一、一五
干潮　前五、四五　後六、五五

舊十月二十七日
木曜　戊寅　赤口　平　角宿
新十二月七日



▲一白　和合はありても福徳には至つて縁の薄き日▲二黒　うかと人のいざなひに乘る時は意外に大失敗す▲三碧　盛大なる良運日なれども浮氣は注意すべし▲四綠　細事を輕卒にし大事を破る事あり萬事注意▲五黄　內に屈たくするより外に活動するが有利の日▲六白　德を磨き心を圓くすれば吉慶自ら來るべし▲七赤　自己をほこらず安分を保たば吉き日と成べし▲八白　生業は思ひの外吉けれども投機には大凶日▲九紫　一時の乏しきを忍ぶ時に福德自ら巡り來る

音ガ生命
ビクターラヂオ
4R10　¥78.00
テレビアン
シナヨナル　代理店
ビクター
富永ラヂオ店
〔電四九六〕

移轉廣告
今般左記へ新築移轉致候間御通知申上候
昭和十四年四月
平市南町十四番地（警察署通り角）
外科一般
內臟外科
性病科
肛門病科
木村外科醫院
（舊診療所　平市六丁目）
木村淳
電話三〇九番
◎入院應需

お醬油は……ヤマブル
壚屋
山崎合名會社
福島縣平市
味噌　醬油
たひら正宗
鰹節　食品料
明治生命磐城代理店　山崎與三郎
電話（營業部一〇番　本店二七番）

產婦人科專門
根本醫院
平市南町
（入院隨時）
電話三四番

日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌
平市紺屋町三六

鑑定項目
名前のみで一代の運命
何んでもわかる……
體力。（肉體　疾病）（健康、不健康、相貌、病根病勢、病名）に關する一切
活動。（職業　天運）（適業、不適業）（天運、成功、不成功、災厄）に關する一切
血縁。（家族運　男女縁）（父母の縁、夫婦の縁　子供の縁）有無（氣質、相性、相尅、婚期方位）に關する一切
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名

强い
自轉車とリヤカー
フタバ商會
新川町郵便局向

產婦人科
井坂醫院
平市田町　電五五九
見習看護婦入用

田毎の志るこ
ぞうに
電話六三二番